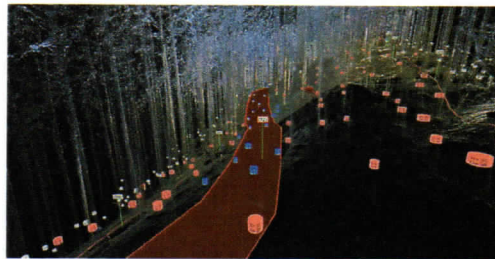


循環型森林利用



森林資源のデジタルデータ化 (出典: 西川地域スマート林業協議会 (弊社も参画))

埼玉県飯能市との包括連携協定



森林資源データを活用した林業高度化のイメージ (出典: 林野庁)

人工光による苗木栽培～植樹 (弊社技術研究所)



施工技術の林業への活用イメージ

木と共にある暮らしに向けた、森林や木材利用の普及・啓発

伐って、植えて、育てて、使う

戦後の造林による森林蓄積。もり(供給)とまち(需要)のバランスがとれた、持続可能な森林利用が求められています。

スマート林業による高度化

木材利用の推進のためには、林業の成長産業化が必要です。このため、レーザ計測により森林資源データを取得し、効率的な伐採や販売に活用します。

人工光による苗木栽培～再造林

伐採後の森林には、植樹による再造林が必要となります。このため、苗木の安定供給に向け、人工光で苗木を生産するシステムを構築します。

森林共生都市「スマートフォレストシティ」

先端技術を活用し、森林を起点とした木と共にある暮らし、地域創生を実現します。



岡山県西栗倉村：一般財団法人西栗倉むらまるごと研究所 (弊社も出資)

スマートフォレストシティ (Smart Forest City)

ICT・AI・IoT等の先端技術を活用し、森林を起点とした循環型の木材利用と連携した地域創生を目指す都市・社会

